



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名 日本コンセプト株式会社 上場取引所 大
 コード番号 9386 URL <http://www.n-concept.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 孝義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 仁科 善生 (TEL) 03 (3507) 8812
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	5,484	—	784	—	655	—	396	—
23年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 393百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	101.36	—
23年12月期第3四半期	—	—

(注) 当社では、平成23年12月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成23年12月期第3四半期の数値及び平成24年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	12,077	2,419	20.0
23年12月期	11,671	2,064	17.7

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 2,419百万円 23年12月期 2,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	10,000.00	10,000.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成24年12月期期末配当金(予想)の内訳: 普通配当 10円00銭 記念配当 20円00銭

当社では平成24年6月19日付で、1株を1,000株とする株式分割を行っております。23年12月期は、分割前の発行済株式に対するものであり、24年12月期(予想)の1株当たり配当金については、当該株式分割調整後の内容を記載しております。詳細は、本日公表いたしました「配当予想の修正(JASDAQ上場記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	4.4	1,310	4.0	940	3.5	560	4.9	139.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社株式は、当第3四半期連結累計期間後、平成24年10月4日をもって、株式会社大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場いたしました。平成24年12月期(予想)の1株当たり当期純利益は、平成24年10月3日を払込期日とする公募株式数(450,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年12月期3Q	3,916,000株	23年12月期	3,916,000株
24年12月期3Q	—	23年12月期	—
24年12月期3Q	3,916,000株	23年12月期3Q	3,916,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

第2四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、23年12月期の期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、復興需要やエコカー補助金等による底堅い個人消費需要、復興・復旧を中心とする公共投資等を背景に内需が緩やかな回復基調で推移しましたが、欧州・アジア諸国の景気が減速する中で、為替は79円レベルの円高での推移が続いており、景気の先行きは不透明な状況にあります。

一方で、世界に目を向けますと、米国では住宅市場の回復の動きが見られる等、緩やかな回復基調を続けておりますが、ヨーロッパでは昨年来の欧州債務問題による景気停滞が続いております。また、欧州との貿易が低迷する中で、中国を始めとする新興諸国においても景気が緩やかな後退を見せており、世界的な景気減速の懸念が払拭されない状況にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、欧州を相手方とする取引を中心として輸出入・三国間取引が全体的に低迷を余儀なくされ、第2四半期の回復基調に水を差される形となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,484百万円となりました。また、利益面では、営業利益は784百万円、経常利益は655百万円となり、法人税等差引後の四半期純利益は396百万円となりました。

なお、デリバティブ評価益として240百万円を計上しておりますが、主な要因は、期日の到来した通貨オプションの権利行使を受け契約額が減少したことに伴い、昨年度末までに計上していたデリバティブ債務を取り崩したことから生じたものであります。他方、権利行使価格が市場の実勢レートより円安水準であるため、オプションの権利行使により発生したドル預金には為替差損が発生しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ406百万円増加(3.5%増)し、12,077百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ210百万円減少(9.4%減)し、2,028百万円となりました。現金及び預金が382百万円減少、立替金の増加などによりその他が131百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ619百万円増加(6.6%増)し、10,027百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ131百万円減少(4.7%減)し、2,682百万円となりました。納税に伴う短期借入金が141百万円増加した一方で、未払法人税等が264百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ182百万円増加(2.7%増)し、6,974百万円となりました。リース債務235百万円の増加が主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ354百万円増加(17.2%増)し、2,419百万円となりました。利益剰余金357百万円の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、欧州債務問題等による輸出入取引全体の低迷に伴い、売上高及び営業利益が予想をやや下回る水準となっております。今後の見通しにつきましては、欧州の景気不透明感はあるものの、手元在庫の調整の進展と年末を控えた需要増等を背景に取扱量の回復が見込まれること、また、今年度設立した米国現地法人が当局認可を取得(9月)したことにより米国市場に本格的に参入できること等から、輸出、輸入及び三国間の取引増加が見込まれており、平成24年12月期の連結業績予想につきましては変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間より、新たに設立した NIPPON CONCEPT AMERICA, LLC を連結の範囲に含めております。

なお、当該子会社は、特定子会社ではありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

平成24年6月19日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行いました。期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,453,132	1,070,432
売掛金	684,141	721,326
その他	106,439	238,142
貸倒引当金	△3,826	△933
流動資産合計	2,239,886	2,028,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	570,596	544,480
タンクコンテナ(純額)	7,088,646	7,565,344
土地	1,281,801	1,568,801
その他(純額)	260,994	145,139
有形固定資産合計	9,202,039	9,823,765
無形固定資産	78,635	79,578
投資その他の資産	127,203	124,072
固定資産合計	9,407,878	10,027,417
繰延資産	23,309	20,783
資産合計	11,671,074	12,077,168
負債の部		
流動負債		
買掛金	529,090	471,493
短期借入金	16,400	157,500
1年内返済予定の長期借入金	1,141,359	1,185,466
1年内償還予定の社債	334,400	344,400
リース債務	35,221	75,569
未払法人税等	340,001	75,484
賞与引当金	13,045	37,901
その他	404,471	335,154
流動負債合計	2,813,990	2,682,969
固定負債		
社債	629,000	576,800
長期借入金	4,987,100	5,150,673
リース債務	344,978	580,685
退職給付引当金	48,133	54,381
その他	783,328	612,364
固定負債合計	6,792,540	6,974,904
負債合計	9,606,531	9,657,874

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,300	389,300
資本剰余金	315,459	315,459
利益剰余金	1,465,713	1,823,462
株主資本合計	2,170,472	2,528,222
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,570	△1,510
繰延ヘッジ損益	2,783	△46
為替換算調整勘定	△107,142	△107,371
その他の包括利益累計額合計	△105,930	△108,928
純資産合計	2,064,542	2,419,294
負債純資産合計	11,671,074	12,077,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,484,970
売上原価	3,957,557
売上総利益	1,527,413
販売費及び一般管理費	742,852
営業利益	784,561
営業外収益	
受取利息	1,283
デリバティブ評価益	240,613
受取家賃	1,960
受取保険金	1,222
受取補償金	1,163
その他	1,671
営業外収益合計	247,915
営業外費用	
支払利息	177,925
為替差損	173,522
その他	25,886
営業外費用合計	377,333
経常利益	655,143
特別利益	
固定資産売却益	5,044
特別利益合計	5,044
特別損失	
固定資産除却損	504
特別損失合計	504
税金等調整前四半期純利益	659,683
法人税等	262,773
少数株主損益調整前四半期純利益	396,909
四半期純利益	396,909

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	396,909
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	59
繰延ヘッジ損益	△2,829
為替換算調整勘定	△228
その他の包括利益合計	△2,998
四半期包括利益	393,911
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	393,911
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

(公募による株式の発行)

当社は、平成24年10月4日をもって、株式会社大阪証券取引所 J A S D A Q (スタンダード) に上場いたしました。当社は、上場に当たり平成24年8月30日及び同年9月13日に取締役会を開催し公募による株式の発行を決議しておりましたが、下記のとおり同年10月3日に払込が完了いたしました。

この結果、同日付で資本金は、600,440千円、発行済株式総数は4,366,000株となっております。概要は以下のとおりであります。

① 募集方法

有償一般募集 (ブックビルディング方式による募集)

② 発行する株式の種類及び数

普通株式 450,000株

③ 発行価格

1株につき 1,020円

④ 引受価額

1株につき 938.40円

この価額は当社が引受人より1株当たりの新株式払込金として受取った金額であります。

なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

⑤ 発行価額 (会社法上の払込金額)

1株につき 867円

⑥ 資本組入額

1株につき 469.20円

⑦ 発行価格の総額

459,000千円

⑧ 引受価額の総額

422,280千円

⑨ 発行価額の総額

390,150千円

⑩ 資本組入額の総額

211,140千円

⑪ 払込期日

平成24年10月3日

⑫ 資金の使途

業容を拡大していくためにタンクコンテナ保有数の増加が不可欠であることから、タンクコンテナの購入に全額充当する予定であります。